

節分

今日2月3日は「節分」です。節分の「節」は、節「ふし」とも読んで、竹の茎にある区切りのことを言います。つまり節分とは、季節を分ける区切りという意味があるのです。

この時期の節分は春が立つと書いて「立春」の前の日を指します。その他にも夏が立つと書いて「立夏」、その他にも「立秋」、「立冬」があります。

昔から、季節の変わり目は邪気（鬼）が生じる、何か悪いことが起こると言われており、それを追い払うための行事があるのです。それが、「鬼は外、福は内」と声を出しながら福豆をまいて厄除けを行うことになったのです。

「豆には生命力と魔力がある。」と信じられていて、しかも、「魔目」（まめ）、つまり、魔物の目に投げつけて鬼を退治することによって、悪いことを追い払う、1年の安全を祈るということから、豆まきをするのです。もし、お家で豆まきをする時は、目に向かって投げないでくださいね。

そして、もう一つ。「自分の年の数と同じ数だけ豆を食べるとよい」とされているのです。8歳の子だったら8個、12歳の人なら12個食べるとよいのです。なぜならば、豆は栄養があって、体にいいからです。だから、昔はまいた豆を拾って年の数だけ食べました。1年の健康を祈るということから、豆を食べたのです。だけど、お家で豆まきをした時は、床や土に落ちた豆は食べないでください。何かの菌がついているかもしれませんから。

さて、皆さんにとって今、邪気（鬼）とを感じるのはどんなことですか？一生懸命勉強をしなければいけないのに、さぼりぐせの鬼が心の中にいて、あまり勉強していない。お家の手伝いを今までしっかりやっていたのに、あまりやりたくない鬼が心の中にいて、あまりお手伝いをやっていない。

もし、そんな鬼が心の中にいるなら、この節分の機会に心の中から追い出してしまいましょう。そして、4月に迎える新しい学年に備えましょう。